

# 繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

十一月の月次祭の後に、山本忠治本部長にお入り込みいただき、本部巡教（言い換えると諭達講習会）を開催いたしました。諭達第四号をもとに、教祖百四十年祭に向かう三年千日を、ようばく一人ひとりはどう仕切って通るのかについて思案を深める機会となりました。

またその日の午後から、大教会役員ならびに直属教会長を対象として、一泊二日でねりあい合宿を開きました。

まずは繁藤において先頭に立っていく立場の者が談じ合い、心を定めて実践を示していくべきではないか、との思いが発端です。そこでは、繁藤としての方針・目標を話し合うことはもちろん、一個人としての心定めなどについて話し合いました。参加者は十五名ほどで、非常に充実した場になりました。参加者の感想も前向きなものがほとんどで、「年に二〜三回してほしい」という要望も複数あったほどでした。その中でも特に多かった感想が、「気づきを得た」そして、「勇みをもたらした」というものでした。

正直いうと、これまで私自身はねりあいあまり好きではありませんでした。

た。しかし、最近おちばで何度かねりの機会をいただき、その中で「あ、こういう場合は値打ちあるな」と改めて肌で感じていたところでした。

「山の仙人ではなく、里の仙人」という言葉があるように信仰や陽気ぐらしは一人ではできません。おちばで、大教会で、自教会で信仰の気づき、勇みをもたらして、日常生活に活かして実践していく。そのサイクルが陽気ぐらしに向かう歩みとなる。こう考えると、コロナ禍を経て、今こそねりあいのような信仰的なコミュニケーションが必要なかもしれません。

本年十月におちばで行われた青年会総会において、中山大亮青年会会長様はお話の中で、

「問いと対話によって生まれる気づきが、成程の人に向かつての大切なプロセスである」

とおっしゃっています。やはり、これからのお道においても、ねりあい、談じ合い、さとしあといった対話による信仰練磨の場が重要になってくるのだと感じます。



大亮様のお話

今後繁藤において、素晴らしいお話を聴く機会、ねりあいをする場をどんどん作っていくと思います。そんな場に皆さん声が掛かったときは、私のように「ねりあいは苦手やから・・・」なんて言わずに、ぜひご参加いただければ幸いです（笑）。そうして、繁藤につながるお互いが、勇み、勇ませ合いたがらこの三年千日を通していただきますよう。

立教百八十五年十二月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男



ねりあい合宿の様子

【五教百八十五年十一月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神存にお鎮まり下さいます親神天理玉令の御前に天理教  
 繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。親神様には子供可愛い一条の  
 親心から、教祖をやしうとしてこの世の表にお現れになり、元初りの真実を明か  
 され、だめの教えをお啓き下さいました。私共はかしもの・かりもの世界の中  
 で、日夜絶えまなくお働き下さる十全の守護に感謝し、をやの思いに添い切ら  
 せていただけるよう日々心の成人に努め、たすけ一条の御用に励ませていただい  
 ておりますが、その中にも今日の良き日は、これの繁藤大教会に御許しいたい  
 ております月々の御祭日でございますので、只今からおとめ奉仕者一同心を  
 揃え、陽気に座りづとめ・てをどりを勤めて、十一月の月次祭を執り行わせて  
 頂きます。御前には、今日を樂しみに寄り集った道の子たちが、ともに朗らかに  
 おうたを唱和し、世界一列の心が澄み渡り、陽気くらし世界建設を願う真実  
 の状を御覧いただき、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。  
 こと分けて申し上げます。先月の本年秋季大祭におきまして、真柱様より直  
 々に諭達第四号を御発布いただき、教祖百四十年祭に向かう三年千日の指  
 針をお示し下さいました。そして本日、おどばより山本忠浩本部長にお入り  
 込みいただき、祭典後に本部巡教を勧めさせていただきます。ひながたを目標  
 に教えを実践し、たすけ一条の歩みを活発に推し進めるべく、繁藤の教会名称  
 の理に繋がるお互いが、勇んで三年千日を通らせた心づくりをする契  
 機とさせていただきます。

何卒、尚一層の成人を誓う状を御覧くださいますして、未代縁くたすけ一条の  
 道の歩みを、着実に進めさせていただきますようお導きの程を一同と共に慎ん  
 でお願ひ申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十五年十一月祭典役割》

祭主	大教会長		坂本久徳		指図方		村上英士		扨者		安部道郎		扨者		田村聡佐		賛者		佐藤成彦		座りづとめ		座りづとめ		大教会長		空閑一将		宇山基紀	
	大教会長		坂本久徳		指図方		村上英士		扨者		安部道郎		扨者		田村聡佐		賛者		佐藤成彦		座りづとめ		座りづとめ		大教会長		空閑一将		宇山基紀	
男	前大教会長		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田		藤田	
女	前会長夫人		坂本喜子		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美		田村睦美	
地方	安部道郎		黒河明大		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教		空閑一教	
笛	村上英士		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一		立花孝一	
チャンポン	為田紀久男		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久		土居道久	
拍子木	佐藤節幸		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦		佐藤成彦	
太鼓	坂本久徳		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典		藤田善典	
すりがね	藤田憲明		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎		立花真一郎	
小鼓	田村久徳		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵		佐々木恵	
琴	藤田洋美		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑		空閑	
三味線	佐藤順子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子		秋月孝子	
胡弓	村上美栄子		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代		佐藤文代	
論達講習会	山本忠治先生		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子		大亀満寿子	

## 【神殿講話】

(十二月) 宮田 孝道

## 【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(十二月) 安部 道郎

## 【教会長神殿当番】

(十二月) 日之富・新立・児島郷

立教百八十六年

(一月) 本訓・紋湧・紋宝

## 【詰所教養掛】

(十二月) 坂本 久徳

立教百八十六年

(一月) 村上 英士

## 【詰所事務掛】

(十二月) 宮田 教一

立教百八十六年

(一月) 青木 悦雄

## 【つらきこと】

○婦人会詰所ひのきしん

十二月二十五日～二十六日 (未定)

○本部食堂ひのきしん

三月十六日～三十一日

関守 分教会

## 【五季つとめ】

十二月は五季つとめの月でございますので、左記の通り上級を通じてお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季つとめ 三、五〇〇円

一、御神酒料 三〇〇円

一、御鏡料 一、〇〇〇円

合 計 〇四八〇〇円

## 【心定め提出のお願い】

各教会には、月報に來年度の心定め用の紙を同封しております。×切は十二月二十日とさせて頂きまますので、恐れ入りますが遅れないようご提出の程をお願い申し上げます。

## 【教会長夫婦・在籍者年頭の集い】

來る立教百八十六年一月二十日、左記の通り大教会において「教会長夫婦・在籍者年頭の集い」を開催いたします。

対象者の皆様方には、一人でも多くご参加頂けますようご案内申し上げます。

記

日時 一月二十日 午後一時三十分 開会予定

※詳細につきましては、來月号の月報に掲載させて頂きます。

【お節会開催・お餅つき】

例年一月五日〜七日までおちばにおいて執り行われておりました「お節会」は、コロナの影響で中止が続いておりましたが、来年は開催されます。

それに先立ちまして、今月二十五日午後一時より詰所にて、ご本部お供用のお餅をつかせて頂きますので、ひのきしん頂けます方は、お手伝いの程よろしくお願いいたします。

【婦人会】

○『第三十回女子青年大会』

去る、十一月二十七日「第三十回女子青年大会」が本部中庭にて開催されました。当日は三十八名（女子青年十四名・婦人八名・他十六名）が参加され、式典の後、詰所にて「支部の集い」が和やかに行われました。

参加してくださった方、お声がけしてくださった方、送迎・準備に携わってくださった方、誠にありがとうございました。



○YouTubeで配信開始

題名「みちのだいチャンネル」  
”聞くほどに やさしくなるはなし”

※月に2回配信予定

【少年会】

○研修員第41期生募集

出願資格 団長が推薦し、直属教会長が認めた者

ようぼく

（研修期間中におさづけの理を拝戴する者も可）

出願期間 令和4年9月26日〜令和5年2月28日（必着）

研修期間 令和5年3月26日〜令和6年3月26日

※推薦書、履歴書、レポートを少年会本部庶務課まで提出

○新教材「なりもの練習に役立つリズムあそび」

この教材は、初めて鳴物をさわるお子さんや鳴物の拍子がうまく取れないお子さん、そんなお子さんたちに、拍子木やちゃんぼん、すりかねなどの拍子の感覚を、リズム遊びを通して楽しみながら身に付けてもらいたい、そんな思いから開発致しました。

鳴物練習…その前に！ みんなで楽しく！

### なりもの練習に役立つ リズムあそび

初めて鳴物に触れる…なかなか鳴物が上手くできない…そんな少年会員に、楽しみながら鳴物の感覚を身に付けることができるリズムあそびを収録！

収録内容

- おつとめの説明
- 鳴物の紹介
- 拍子木、ちゃんぼんのリズム
- すりかね、太鼓のリズム

価格 300円

お問い合わせは こちらから

お問い合わせ先 少年会本部 TEL.0743-63-1964



内容は、鳴物練習に役立つリズム遊びの実技を実際に子供たちと一緒にしている映像や実技の解説に加えて、各鳴物の紹介や「なぜおつとめをつとめるのか」おつとめの説明をイラストを用いて分かりやすく伝えられるような映像を収録しています。

DVDは少年会本部にて頒布しています。また、チラシのQRコードを読み取って頂くか、少年会本部のHPからもご視聴頂けます。

それぞれのニーズに合わせて、教会やご家庭で、またおつとめ総会に向けての練習などで「リズム遊び」を通して子供たちと一緒に楽しく遊びながら、鳴物練習の一助として、ぜひご活用下さい。

○お年玉教材

ピッキ&フレンズ

クーパーペンシル12色

頒価 400円



### 【学生会】

学生生徒修養会の「大学の部」が、三月四日～八日まで、「高校卒業生コース」が、三月十日～十二日までの日程で開催されます。

同世代の学生が、共に教えを学び繋がりを深めることは、その後の進路や信仰生活の上でも有意義な事だと思えます。対象になります学生さんにお声掛けの程、よろしくお願ひ致します。

下記のQRコード・URLより、詳細をご覧頂けます。



大学の部



高校卒業生コース

### 【初席者（十月）】

垣生 東 幸輝

### 【おまもり】 一件

女子青年の集い



<https://happist.net>